

令和5年度事業報告

我が国は、現在少子高齢化が進み、労働力人口が減少する中で、労働力を確保し、経済活動を維持する観点からも、働く意欲のある高齢者が、これまでの知識や経験を活かしながら活躍できるシルバー人材センターは重要な位置付けにあり、益々大きな期待となってきました。

しかしながら、令和5年度も前年度に引き続き、令和元年度の会員数に回復させることを目標に募集を行ってまいりましたが、令和4年度より2名多い204名となりました。目標を達成するには、まだまだ先となりそうです。今後も、重要課題の一つとして会員数を増加できるよう、努めてまいりたいと思います。

また令和5年度は、物価の高騰や今まで経験したことのない猛暑日が続くなど、多難な年となりました。その猛暑の中、会員の皆様には、とても過酷な就業となり、体調を崩す会員も数名おりましたが、重度の熱中症となる方がいなかったのが幸いでした。

普及啓発活動におきましては、昨年と同様に3庁舎周辺の除草、植木剪定等の清掃活動を行うことができました。

10月18日に、茨城県シルバー人材センター連合会安全部会の皆様が、当シルバー人材センターに安全パトロールの現地視察で来訪がありました。当日は、草刈り現場をパトロールしていただき、ご指導いただきました。これからも、ご指導を参考にし、会員の安全や健康に対して意識の向上に努めてまいりたいと考えております。

11月29日に事務所を桜川市真壁庁舎3階に移転いたしました。

令和5年度の当シルバー人材センターの受託事業収入は、配分金110,458,013円、事務費13,306,151円、材料費27,632,251円、合計151,396,415円

となりました。

また、派遣事業収入は、賃金 16,183,836 円、手数料等 4,692,779 円、合計 20,876,615 円となり、受託事業収入と派遣事業収入の合計は、172,273,030 円となりました。

事業運営報告

1. 会員拡大の推進

会員数をコロナ禍前の水準に回復できるよう、茨城県シルバー人材センター連合会から支給されたポスターやリーフレットを市の施設に設置すると共に、現会員のクチコミや市の広報紙等への会員募集の掲載及びパンフレットなどを利用し、入会促進に努めてまいりました。

2. 安全対策の推進

職員による安全パトロール等を重点に、安全就業の徹底等を図ってまいりましたが、傷害事故 1 件、物損事故 6 件が発生しました。幸い命に係るような重篤事故はありませんでしたが、これからも安全就業の徹底、事故原因の調査等と防止策の検証及び情報の共有等を行い、各種安全対策、適正就業に努めてまいりたいと思います。

3. 事業拡大の推進

事業拡大の推進を図るにあたり、派遣事業の拡大に取り組みました。

派遣事業につきましては、約 167 万円の増加となりました。しかし派遣事業においても、会員不足の影響から発注者の要望に対応できないこともある為、今後の課題の一つです。

4. 普及啓発活動の展開

普及啓発の一環として、支所ごとに毎年恒例のボランティア活動を行ってまいりました。当日は事故も無く、総勢80名の参加者でボランティア活動を行うことができました。ご参加いただいた役員及び会員の皆様のご協力に感謝いたします。

5. 運営基盤の強化

「自主・自立」「共同・共助」の理念に基づき、適正な事業運営等、健全経営に努めると共に、自主財源の確保や、事務局体制の強化並びに就業機会の確保を図りました。